なでしこだより 各戸配布

地域とともに歩み、支えあえる公民館を目指します。地域の話題をお寄せください。

令和7年度 No.12

なでしこ3だより 月号

発行 平塚市立なでしこ公民館
〒254-0825 平塚市撫子原12-54
電話:35-1254 ファクス:37-1061

ホームページ
平塚市立なでしこ公民館 検索

プレイバック令和7年度

～なでしこ公民館事業を中心に
なでしこ地区の今年度を振り返ります～

春 苗植えや植え替え等の自然体験を多く実施

花いっぱいの公園・公民館をつくろう!

なでしこファーム～さつまいもの回～

夏 夏休みには夏祭りや工作教室等を開催

風物詩♪なでしこ地区大BONおどり大会

大工さんに習う夏休み親子工作教室

秋 盛り上がった地区レク、新事業「みんうた」も開催

人気事業!みんなでうたおう

地区レク 優勝は撫子原自治会(2連覇)

冬 掘ったお芋でお料理、年明けには恒例のちびっこマラソン

収穫したお芋でさつまいもレストラン

今年も快晴!新春ちびっこマラソン

公民館・福祉村などの予定カレンダー

日	曜日	スケジュール
3月		
16	月	
17	火	
18	水	(福)(パ)みんなでうたおう
19	木	(福)(ウ)事前利用申込開始
20	祝	
21	土	(福)(図)(碁) パパだからできる子育て
22	日	
23	月	
24	火	
25	水	(福)(パ)事前利用申込〆切
26	木	(福)(ウ)(ぬ)
27	金	(福)
28	土	(福)(図)
29	日	
30	月	
31	火	

日	曜日	スケジュール
4月		
1	水	(福)(パ)
2	木	(福)(ウ)(あ)
3	金	(福)
4	土	(福)(図)(碁)
5	日	
6	月	
7	火	
8	水	(福)(パ)
9	木	(福)(ウ)(ぬ)
10	金	(福)(手)
11	土	(福)(編)(図)(碁)(お)
12	日	
13	月	
14	火	
15	水	(福)(パ)
16	木	(福)(ウ)(あ)

年度末を迎え、4月から新しい生活をお迎えになる方も多いことかと思います。
みなさまにとって、令和7年度はどんな1年だったでしょうか。
なでしこ公民館、なでしこ地区では令和7年度もたくさんの行事がありました。
地域団体、地域住民が一体となって行われる行事はとても熱く、盛大に行われています。令和8年度も明るく、楽しく、元気よくオールなでしこで盛り上がっていきましょう!!!!

子育てサロン「あ～んとあんと」

3月5日(木)
4月2日(木)、16日(木)
10時～11時30分

0、1、2歳児をもつパパ、ママたちの「出会い」「和」「巣立ち」を応援します。気軽にお越しください。

(福):福祉村開所日	10時～正午　13時～15時
(パ):パークゴルフ開催日	10時～正午
(ぬ):大人のぬり絵	13時～15時
(あ):子育てサロン「あ～んとあんと」	10時～11時30分
(ウ):なでしこ公園ウォーキング	10時～11時
(手):手作りサロン	13時30分～15時
(編):編み物の会	10時～12時
(お):おはなし会	14時～14時30分
(図):図書ボランティア活動日	14時～16時
(碁):こども囲碁教室	9時30分～11時30分

なでしこ公民館などのイベント

こども囲碁教室

3月7日(土)、14日(土)、21日(土)
4月4日(土)、11日(土)、18日(土)
9時30分～11時30分
教室には小学生から中学生まで幅広い年代の子どもたちが参加しています。
初心者の方も大歓迎です。ぜひ、遊びにきてください。

おはなし会

大人もこどもも大歓迎！！

３月のおはなし会は3月1日の公民館まつりで実施します。

◎毎月第2土曜日14時～
◎なでしこ公民館　2階和室
4月は11日(土)に開催予定
演目は**「おはなし」「絵本」「紙芝居」**
小さなお子さまと一緒にお越しください。泣いても大丈夫です。
大人だけでも参加できます。
みなさまのお越しをお待ちしております。

再掲　利用申込方法を変更

★月初に実施していた一斉受付は行いません★
登録団体へ通知しています。必ず資料をご確認ください。

申込方法を変更しています。4月分の事前申込は終了しています。
空いている枠でお申込みください。
【5月の利用申込】
・**事前利用申込期間3月19日(木)～3月25日(水)→利用申込書を提出**
　※月末までに連絡がなければ5月の利用日時が確定
・他団体と重複がある場合のみ、連絡して調整をします。
・事前利用申込以外は確定後に空いている枠でのお申込みとなります。

学習スペース開放中　子どもたちの学習応援事業

≪開放日≫　**原則、毎週日曜日と水曜日のサークル利用のない時間**
≪会　場≫　なでしこ公民館　図書室
≪対　象≫　小学生、中学生、高校生
≪時　間≫　小学生：愛の鐘が鳴るまで
　中学生：19時まで
　高校生：21時まで
≪申込み≫　公民館窓口で申込書を記入してください。サークル利用があると使用できないため、ご確認をおすすめします。
≪ルール≫　共有の学習スペースです。静かに勉強しましょう。
　食事はできません。水分補給は可。
　貴重品等の管理は自己責任です。　　等

ちいき情報局なでしこ

地域のイベントや、地域団体の活動状況、自治会回覧板でのお知らせ等、なでしこ地区の身近な情報が確認できます。ぜひ、ご覧ください！

知恵袋バンク

地域の講師や人材をつなぐ
平塚市地域活動サポート人材登録制度

講師探してませんか
例えば…
地域でサークルを作りたい
活動を支援してもらいたい
〇〇教室を催したい

公民館が紹介します
例えば…
親子あそび　親子ヨガ
箏曲　三味線　大正琴

活動の幅がぐっと広がる！
必要な人材がスムーズに見つかる！
※利用条件・人材検索など詳しくはお近くの公民館に来館いただくか、ウェブをご覧ください

知恵袋バンクTOPページ
講師紹介Youtube

なでしこ地区の歴史風景83

平塚海岸の地曳網(じびきあみ)

相模湾中央部の鎌倉から小田原にかけて漁業は、地曳網漁(砂浜漁業)が主流であった。沖で行う漁猟は何事に寄らず入会(いりあい)であるが、地曳網とか鮑取りなど磯で行う漁猟は前々から定めた通り各村の地先漁場で、浦境を決めたとある(注1)。文化6年(1809)、須賀村で地曳網を用いてイワシを獲っていたと言う史料がある。天保頃(江戸時代後期)、平塚宿には漁船が4艘あって、地曳網で漁をしアジ・サバ・イワシなどを獲っていた(注2)。大磯付近では、地曳網の漁場のことを「ハマ」と言った。漁をすることを「ハマをかける」と言う。漁場はそれぞれの船ごとに縄張りが決まっていた(注3)。

明治30年(1897)頃の平塚の漁業については、『平塚繁昌記』(注4)によると、本宿・新宿に、酒清・出田・伊勢松・今井・平田・福山・佐藤などの網元がいて、漁民はおよそ100余人いた。住民は、ほとんどが主に農作をしていて漁業もしていた(半農半漁)。つまり、農業の合間に海辺に出て漁業を助け、老若は網を曳いて分配を受けるのだった。また、「網曳」と言う項目には、平塚海岸の漁師は、朝早くから網を入れて、老若男女が打ち寄って陸から網を曳き上げた。網を陸地に運ぶと、溌剌(はつらつ)たる魚がフゴ(畚・「びく」のこと)の中で踊った。観光客も地元民の中に混じって、網を曳くのも「衛生」に適しているとある(注5)。

『平塚市史民俗調査報告書７』(注6)を見ると、漁業をおこなっていたのは、柳町・西仲町の家で、地曳網の網元には、山田屋(府川)・シオヤ(今井)、出田・佐藤などがあった。いずれも農業を兼ねていた。地曳網の漁期には、柳町・西仲町・東仲町の人たちが網を曳く手伝いに行き、帰りには獲れた魚の分配を受けた。どの網を手伝うか決まっていて、子どもが行ってもシラスを桶に1杯ずつ分けてくれたという。昭和30年頃になって、山田屋が、さらに5年後には塩屋がやめた。

平塚海岸の地曳網(注7)

(注1)『神奈川県史　通史編3　近世2』『神奈川県史　資料編９　近世６』
(注2)『新編相模国風土記稿』３輯　48巻大住郡７
(注3)『大磯町史8　別編民俗』
(注4)『平塚市史６』に所載。
(注5)衛生とは健康のことであろう。当時、海浜で療養することが流行した。
(注6)『平塚市史民俗調査報告書７』1988　**同書の「柳町」の項目には、柳町で漁をやっていた家は、さかせ(原田)、山田屋(布川)、塩屋(今井)、西仲町ではトウコウエン(出田)であったとある。**
(注7)『平塚繁昌記』明治29年12月刊。挿絵中央左に地曳網をしている様子が描かれている(中條所蔵)。
(補注)『小田原の原風景』「沿岸風物篇」(1996)の「平塚・大磯・二宮」の項(ｐ53～89)に地曳網の写真がたくさん載っている。

中條利昭　(なでしこ地区在住)

講座のお申込みでいただいた個人情報は、その事業に関係する事務、連絡のみに使用します。また、講座の様子を記録した写真等は、講座の開催の記録として、公民館だよりやホームページ、その他メディアに掲載されることがありますのでご了承ください。